

福島県双葉町民への東京ツアー実施

今後も「日本の元気な姿」、世界に向け発信

外国人向けの訪日旅行を取り扱う THE J TEAM(ゲラント・ホルト代表)は 8 月 26 日、原発事故により埼玉県加須市で避難生活を余儀なくされている福島県双葉町民を招待し、支援イベント「暑さに負けないぞ、夏祭りだ」を開催した。当日は急遽決まった双葉町内の自宅への一時帰宅の日に当たったが、100 名招待予定のうち 80 名以上の双葉町民が参加した。

ツアーは A・B・C の 3 コースを設定。午前には各コースで東京観光を行い、午後(～16 時)に JAICA 地球広場で開催される夏祭りに参加するというもの。

当初の予定では各コース、8 時に埼玉県騎西高校をバスで出発。10 時に浅草・牛島神社で合流し、スカイツリーを背景に集合写真を撮影する予定だったが、高速道路が渋滞した影響で日程を変更。A、C コースのバスは直接コースに向かい、B コースの参加者のみ牛島神社で記念撮影を行った。

参加者からは「こういったイベントを企画していただいて本当に感謝している。子どもたちも喜んでいる。良い夏休みになったはず」との声があった。B コース参加者たちは写真撮影後、コースである品川の水族館に向かった。

同イベントをサポートするリンクイベントプロデュース営業推進部ツーリストグループの廣田正部長は、「被災者支援はもちろんのこと、震災以降、急激に落ち込んだインバウンド回復を急務と感じている。こうしたイベントを通じ、日本の元気な姿を世界に向けて発信していければ」とコメントした。

今回の支援イベントは、THE J TEAM のホルト代表によると、海外向けに日本文化体験を主催する NPO 日本文化交流塾と共同主催したもの。インバウンドを取り扱う旅行会社は震災による訪日旅行需要の激減で大きな影響を受けているが、こうした支援イベントを実施することで、日本の復興をより海外にアピールしていきたいとしている。



※写真＝浅草・牛島神社前で記念撮影する福島県双葉町のみなさん